



「最高の結果を出せました」と胸を張る今井さん

輝いています

全国中学校水泳競技大会1500m自由形 優勝

ひと

いま い しゅう すけ
今井 柁介 さん

たゆまぬ努力でつかんだ全国優勝

先

月開催された全国中学校水泳競技大会。1500m自由形で優勝、400m自由形で4位入賞と、輝かしい成績を残したのは、第一中学校水泳部の今井柁介さん（15歳・中央7丁目）です。水泳コーチをしていた両親の勧めで4歳からスクールに通い始め、小学2年生で選手コースに。高学年の頃には同年代のライバルと競い合いながら成長してきました。しかし、中学1年生の大会では厚い壁に阻まれ、惜しくも全国大会への切符を逃しました。今井さんにとって大きく成長する転機となったのがその直後の冬に参加した北関東選抜の合宿です。敗北の悔しさ

をバネに5泊6日の練習で体力の限界まで泳ぎ、疲れたときにフォームが崩れる癖を修正。レース後半もタイムを落とさず泳ぎ切れるようになり、長距離のレースが得意種目に。その後も順調にタイムを縮め、今年6月の県大会では1500mと400mの自由形で優勝し、2冠を達成しました。8月17日から19日まで行われた全国大会。1500m自由形の予選は1位と0.23秒差で2位通過でしたが、「リラックスして自分の実力を出し切ろう」と焦りはありません。迎えた決勝。終盤まではリードを許す展開でしたが、ペースを乱すことなく泳ぎ、持ちまえのスタミナを生かしてラストスパートで大逆転。「最後の50mは無我夢中で泳いでいました」と、2位に1秒差をつけてみごと全国の頂点に立ち、中学生最後の夏に有終の美を飾りました。次の目標はインターハイで優勝すること。そしてオリンピック出場。「これからも自分の泳ぎを磨き、いつか世界の人たちと競ってみたいです」と熱く話す今井さん。その瞳には、世界の舞台で戦う自分の姿が映っています。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.64—



暁翠筆「五節句之内 文月」明治27年(1894) 武川清吉板 大判錦絵三枚続

暁斎の娘で日本画家の暁翠による、七夕の情景を描いた錦絵です。屋根の上まで笹が伸び、赤や黄色の鮮やかな短冊が風になびいています。遠景には浅草寺や明治23年(一八九〇)に建て

られた12階建てのエレベーター付き高層建築「凌雲閣」が描かれています。本図は暁翠を主人公にした澤田瞳子氏の小説「星落ちて、なお」の表紙に使用されました。今回、第165回直木賞を受賞した小説のカバーとして、テレビや新聞などで紹介された本図を展示いたします。



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ やすさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
~明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館 開催中

「暁翠作品展 -花鳥風月、そして美人-」
同時開催 特別展「暁翠の弟子 小熊忠一氏寄贈作品展」

開館 = 午前10時~午後4時 ところ = 南町4-36-4
休館 = 火・木曜日、毎月26日~末日
入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円 小・中学生300円
65歳以上500円
※65歳以上の方は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください

詳細 = 同館 ☎441-9780



詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください

